

2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年10月31日

上場会社名 メタウォーター株式会社
 コード番号 9551 URL <http://www.metawater.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 靖

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務企画室長 (氏名) 中川 雅幸

TEL 03-6853-7317

四半期報告書提出予定日 2018年11月13日

配当支払開始予定日

2018年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	29,534	20.5	3,651		3,355		2,368	
2018年3月期第2四半期	24,517	16.2	5,123		5,121		3,583	

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 2,760百万円 (%) 2018年3月期第2四半期 3,799百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	91.37	
2018年3月期第2四半期	138.23	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	106,640	51,528	48.2
2018年3月期	122,991	55,042	44.6

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 51,370百万円 2018年3月期 54,906百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		29.00		29.00	58.00
2019年3月期		31.00			
2019年3月期(予想)				31.00	62.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	8.2	7,200	6.7	7,100	9.8	4,800	22.1	185.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	25,923,500 株	2018年3月期	25,923,500 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	123 株	2018年3月期	91 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	25,923,398 株	2018年3月期2Q	25,923,456 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予想内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予想に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

(日付の表示方法の変更)

当連結会計年度より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、政府の経済政策や金融政策により、雇用・所得環境の改善が続くなか、緩やかな回復基調が続きました。また、世界の経済状況は、中国経済の減速や米中の貿易摩擦懸念などによる先行き不透明感があるものの、総じて底堅く推移しました。

このような状況のなか、当社グループは設立10年を機に、当社事業を取り巻く環境や当社グループ自体の変化等を踏まえ、企業理念を見直すとともに、2020年度を最終年度とする3事業年度の「中期経営計画2020」を策定し、その達成に向けて「①戦略開発投資」「②事業戦略（基盤分野の強化と成長分野の拡大）」「③持続的なESGの取り組み」を重点施策とし、全社を挙げて取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績については、売上高は295億34百万円（前年同期比20.5%増）、営業損失は36億51百万円（前年同期は営業損失51億23百万円）、経常損失は33億55百万円（前年同期は経常損失51億21百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は23億68百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失35億83百万円）となりました。また、受注高は594億11百万円（前年同期比7.5%減）となりました。

当社グループの事業の特徴として、官公庁向けの国内公共事業が大半を占めていることから、売上の計上が第4四半期連結会計期間に著しく偏り、第2四半期連結累計期間の業績は低い水準となる傾向があります。

当社グループの事業は、「プラントエンジニアリング事業セグメント」に基盤分野であるEPC(注1)事業及び成長分野と位置付ける海外事業が区分され、また、「サービスソリューション事業セグメント」に基盤分野であるO&M(注2)事業及び成長分野と位置付けるPPP(注3)事業が区分されております。

セグメント別の業績は次のとおりです。

(プラントエンジニアリング事業)

プラントエンジニアリング事業においては、海外事業が低調に推移したものの、EPC事業が順調に推移したことにより、売上高は198億63百万円（前年同期比19.2%増）、営業損失は17億53百万円（前年同期は営業損失33億21百万円）となりました。また、受注高は309億46百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

(サービスソリューション事業)

サービスソリューション事業においては、O&M事業及びPPP事業共に売上高は順調に推移し、96億70百万円（前年同期比23.2%増）となりましたが、案件構成の違いにより営業損失は18億97百万円（前年同期は営業損失18億1百万円）となりました。また、受注高は284億64百万円（前年同期比17.8%減）となりました。

- (注) 1. EPC (Engineering, Procurement and Construction) : 設計・調達・建設
 2. O&M (Operation and Maintenance) : 運転・維持管理
 3. PPP (Public-Private Partnership) : 公共サービスの提供に民間が参画する手法

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ163億51百万円減少し、1,066億40百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が増加しましたが、受取手形及び売掛金が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ157億36百万円減少し、896億64百万円となりました。

固定資産は、のれん及び顧客関連資産が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ6億14百万円減少し、169億76百万円となりました。

流動負債は、前受金が増加しましたが、買掛金が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ123億84百万円減少し、366億57百万円となりました。

固定負債は、PFI等プロジェクトファイナンス・ローンが減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ4億52百万円減少し、184億54百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払などにより、前連結会計年度末に比べ35億13百万円減少し、515億28百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は357億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ、107億31百万円増加しました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純損失33億55百万円、法人税等の支払による支出18億42百万円、仕入債務の減少による支出170億89百万円のうち、売上債権の減少による収入380億9百万円などにより、営業活動に伴う資金の増加は、125億25百万円（前年同期比16億22百万円増）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出3億62百万円、無形固定資産の取得による支出1億16百万円などにより、投資活動に伴う資金の減少は4億78百万円（前年同期比23百万円減）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払による支出7億51百万円、PFI等プロジェクトファイナンス・ローンの返済による支出4億15百万円などにより、財務活動に伴う資金の減少は13億12百万円（前年同期比4億50百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績及び事業環境を勘案した結果、2018年4月25日に公表しました2019年3月期の通期連結業績予想を次のとおり修正いたします。

2019年3月期の通期連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	120,000	7,000	6,900	4,700	181.30
今回修正予想 (B)	120,000	7,200	7,100	4,800	185.20
増減額 (B-A)	0	200	200	100	
増減率 (%)	0%	2.9%	2.9%	2.1%	
(参考) 前期連結実績 (2018年3月期)	110,895	6,745	6,465	3,931	151.65

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,805	36,502
受取手形及び売掛金	72,164	34,076
仕掛品	2,623	11,920
貯蔵品	3,299	3,445
その他	1,508	3,719
流動資産合計	105,401	89,664
固定資産		
有形固定資産	2,982	2,972
無形固定資産		
のれん	1,842	1,733
顧客関連資産	2,769	2,619
その他	2,447	2,135
無形固定資産合計	7,060	6,488
投資その他の資産	7,548	7,514
固定資産合計	17,590	16,976
資産合計	122,991	106,640

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,372	6,766
電子記録債務	8,155	3,824
短期借入金	269	287
1年内返済予定のPFI等プロジェクトファイナ ンス・ローン	833	838
未払法人税等	2,173	176
前受金	10,719	17,432
完成工事補償引当金	857	726
受注工事損失引当金	204	185
その他	7,456	6,420
流動負債合計	49,042	36,657
固定負債		
長期借入金	2,050	2,027
PFI等プロジェクトファイナンス・ローン	11,549	11,129
退職給付に係る負債	5,294	5,193
その他	11	103
固定負債合計	18,906	18,454
負債合計	67,949	55,111
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,946	11,946
資本剰余金	15,080	15,080
利益剰余金	30,214	27,094
自己株式	△0	△0
株主資本合計	57,241	54,121
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54	64
為替換算調整勘定	84	△569
退職給付に係る調整累計額	△2,474	△2,246
その他の包括利益累計額合計	△2,335	△2,751
非支配株主持分	136	158
純資産合計	55,042	51,528
負債純資産合計	122,991	106,640

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	24,517	29,534
売上原価	21,486	25,287
売上総利益	3,031	4,246
販売費及び一般管理費	8,154	7,897
営業損失(△)	△5,123	△3,651
営業外収益		
受取利息	98	104
受取配当金	33	53
為替差益	10	249
その他	10	0
営業外収益合計	152	408
営業外費用		
支払利息	107	108
固定資産処分損	38	4
その他	3	0
営業外費用合計	150	112
経常損失(△)	△5,121	△3,355
税金等調整前四半期純損失(△)	△5,121	△3,355
法人税等	△1,544	△1,010
四半期純損失(△)	△3,576	△2,344
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	23
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,583	△2,368

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
四半期純損失(△)	△3,576	△2,344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	10
為替換算調整勘定	△465	△653
退職給付に係る調整額	240	227
その他の包括利益合計	△223	△415
四半期包括利益	△3,799	△2,760
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,806	△2,784
非支配株主に係る四半期包括利益	6	23

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△5,121	△3,355
減価償却費	710	670
のれん償却額	70	68
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△44	△95
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△106	△72
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	96	△121
受注工事損失引当金の増減額(△は減少)	△35	△19
受取利息及び受取配当金	△131	△157
支払利息	107	108
為替差損益(△は益)	△19	△271
固定資産処分損	38	4
売上債権の増減額(△は増加)	39,250	38,009
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,449	△9,468
仕入債務の増減額(△は減少)	△20,300	△17,089
前受金の増減額(△は減少)	7,385	6,720
その他	△401	△609
小計	13,050	14,317
利息及び配当金の受取額	131	157
利息の支払額	△107	△106
法人税等の支払額	△2,171	△1,842
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,903	12,525
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	50	34
有形固定資産の取得による支出	△267	△362
無形固定資産の取得による支出	△145	△116
投資有価証券の取得による支出	△12	△55
貸付けによる支出	△1	—
貸付金の回収による収入	18	18
その他	△144	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△501	△478
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	448	—
短期借入金の返済による支出	△145	△143
PFI等プロジェクトファイナンス・ローンの返済による支出	△411	△415
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△751	△751
非支配株主への配当金の支払額	△2	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△862	△1,312
現金及び現金同等物に係る換算差額	△37	△2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	9,502	10,731
現金及び現金同等物の期首残高	23,352	24,977
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,854	35,709

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
(税金費用の計算) 税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラントエンジニアリング事業	サービスソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,668	7,849	24,517	—	24,517
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,668	7,849	24,517	—	24,517
セグメント損失(△)	△3,321	△1,801	△5,123	—	△5,123

(注) セグメント損失は営業損失ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業損失の数値との間に差異はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラントエンジニアリング事業	サービスソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,863	9,670	29,534	—	29,534
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	19,863	9,670	29,534	—	29,534
セグメント損失(△)	△1,753	△1,897	△3,651	—	△3,651

(注) セグメント損失は営業損失ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業損失の数値との間に差異はありません。